

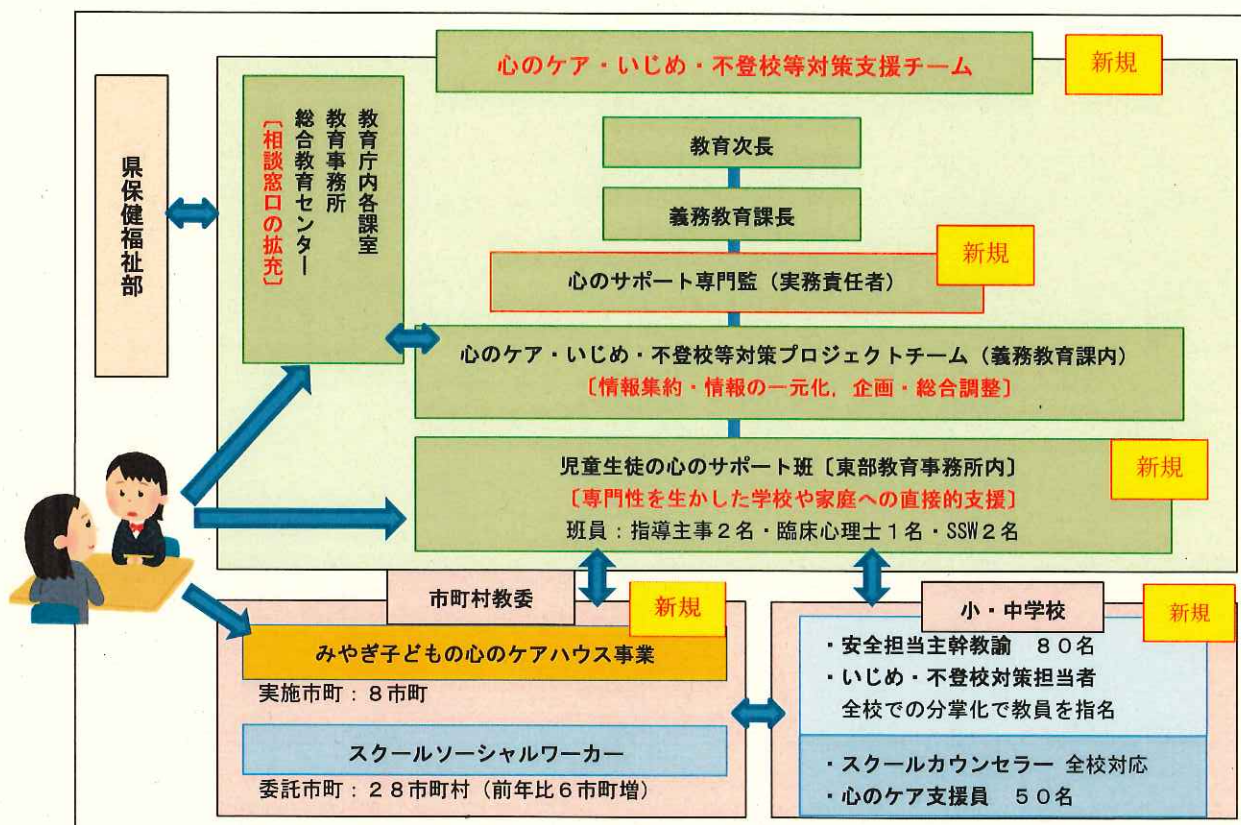
## いじめ・不登校対策について

義務教育課

## 1 いじめ・不登校対策のための体制整備について

本県の喫緊の課題（心のケア・いじめ・不登校等）について、平成28年度から新たに学校等の課題解決を支援するため教育庁内に横断的な組織体制を構築するとともに実務責任者として義務教育課内に「心のサポート専門監」を新設。併せて学校や家庭への直接的な支援を行う「児童生徒心のサポート班」を東部教育事務所内に新設。

児童生徒、保護者、教員等の抱える悩みや問題に幅広く対応する相談窓口を拡充。



## 2 今年度のいじめ・不登校対策の主な取組

## (1) 心のケアの取組について

- ・スクールカウンセラーの配置・派遣（全公立中学校，全市町村配置全小学校へ対応）
- ・教育事務所専門カウンセラーの配置（7教育事務所地域事務所に13人配置）
- ・スクールソーシャルワーカーの配置（県SV2人配置，市町村委託28市町村）
- ・心のケア支援員の配置（小・中学校50人：前年比37人増，こども育英基金充当）

## (2) いじめ問題への取組について

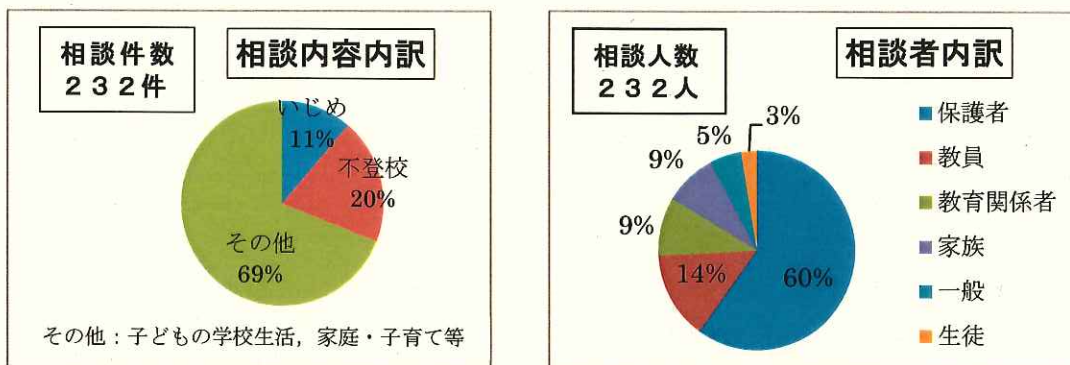
- ・みやぎ中学生いじめ問題を考えるフォーラム（8月）
- ・みやぎいじめゼロCMコンクール（8月）
- ・問題行動等対応研修会（いじめ・不登校対策担当者対象：6月）

## (3) 不登校への取組について

- ・保護者向けリーフレット「充実した中学校生活に向けて」の配付と活用促進
- ・登校支援ネットワーク事業（在学青少年育成員，訪問指導員の配置）
- ・けやき支援員の適応指導教室派遣（4名：10施設）
- ・児童生徒登校支援研修会（全事務所で実施：10月～11月）
- ・みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業（8市町：こども育英基金充当）

### 3 平成28年度上半期の活動状況について（4月～9月）

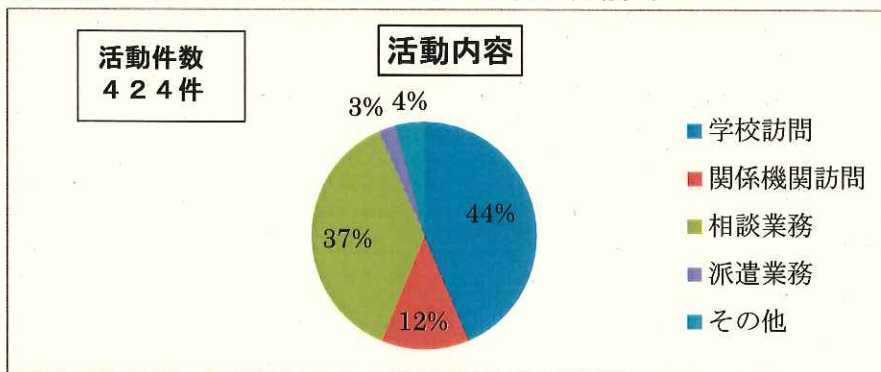
#### (1) 心のケア・いじめ・不登校等対策支援チームの対応状況について



#### ○ 支援チームの対応例

- ・ いじめ・不登校専門の担当窓口ができたことから、保護者からプロジェクトチームへの直接的な相談が寄せられてきている。
- ・ プロジェクトチームで情報の集約・一元化が図られることで、情報を整理し迅速に必要な関係機関に適切につなぐことができています。

#### (2) 東部教育事務所児童生徒の心のサポート班の活動状況について



#### ○ サポート班の活動例

- ・ 児童相談所から当班へ依頼があり、連携して対応できた事例がある。
- ・ 保健福祉部の東部児童相談所や子ども総合センターとの情報交換、石巻地域不登校・ひきこもり支援ネットワークへの参加等を通して、密接な連携により対応できる関係が構築されてきている。
- ・ 派遣要請のあった学校に対して、課題を整理の上支援プログラムを提案したことにより、学校の有効な対応に生かすことができた。
- ・ 特に沿岸部の市町村教育委員会から、このようなチームがあることで心強いと肯定的な声が聞かれた。

#### 4 今後の予定

時期	項目
9月～10月	心のサポート専門監の各市町校長会訪問 ・ 県教委の新体制等の取組の説明
10月下旬予定	児童生徒の問題行動等に関する調査（文部科学省）結果公表 宮城県長期欠席状況調査結果公表
10月31日（月）	みやぎ子どもの心のケアハウス情報交換会 講師 子ども総合センター技術次長（児童精神科医）水本 有紀氏 ・ 県内8箇所のケアハウスのスーパーバイザーを参集し初開催 ・ 講師による不登校児童生徒の保護者への支援について助言
11月17日（木）	心のケア・いじめ・不登校等対策支援チーム推進委員会（第1回） ・ 上半期の活動状況報告と今後の方向性について